

海軍 青年たちの戦争

—5名の足跡をたどって—

開催主旨

本展は、海軍に志願し、戦傷病者となった 5 名の青年の半生をみつめるものです。

勇ましい軍人の姿、海原や大空に憧れを抱き海軍を志願した青年たちは、入団後の訓練を経て戦場へ赴いていきました。そこでどのような体験をし、何を思い、終戦を迎えることになったのか、5 名の証言や手記、資料を通して紹介します。

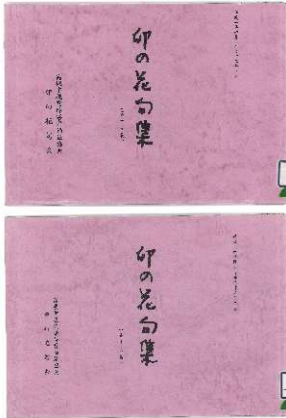
また、海軍には、水兵、航空兵、整備兵、機関兵など、さまざまな兵種があり、本人の適性や希望によって配属が決まりました。兵種によって特徴的な戦傷病、衛生機関や傷病兵の収容体系、海軍病院などについても解説します。

主 催	しょうけい館(戦傷病者史料館)
会 期	令和6年 6 月 4 日(火)～9 月 1 日(日)
会 場	しょうけい館 2 階企画展示室
入 館 料	無料
開 館 時 間	10:00～17:30(入館は 17:00 まで)
休 館 日	毎週月曜日・7 月 16 日(火)・8 月 13 日(火) ※7 月 15 日(月)、8 月 12 日(月)は開館
内 覧 会	令和6年 6 月 4 日(火)10:00～11:00 ※報道関係者向け・要申込
問い合わせ先	しょうけい館 TEL:03-3234-7821 担当:半戸

展示構成

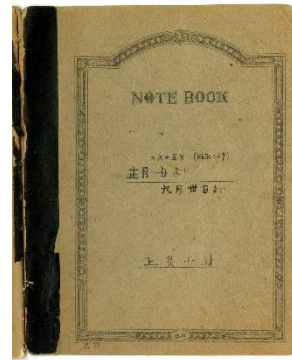
展示Ⅰ. 5名の青年 戦傷病者の半生をたどる

展示Ⅰでは、5名の戦傷病者の、入団の動機、海軍での受傷病と治療の経緯、戦後のくらしについて寄贈資料とともに紹介します。



句集「卯の花句集」

この俳句集は、両目失明となった方がまとめたもの。14歳で親に内緒で海軍を志願した。1945年、戦艦勤務の待機中に空襲にあい、両目と肩、胸を負傷した。戦後に鍼灸マッサージの免許を取得し、福祉にも力をつくした。



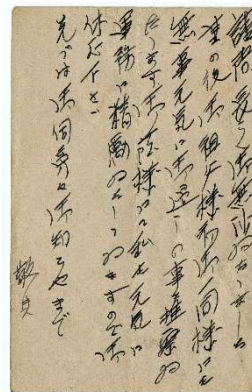
日記帳

この日記帳の持ち主は、1943年に海軍へ入団。小笠原諸島父島の砲台付きの任務を命じられた。米軍の空爆により右手と右足を負傷。入団前は弁護士になりたいという夢があったが、戦後は新聞記者として働いた。



結婚写真

この結婚写真は、海防艦に乗船中に攻撃を受け、片腕を失った方のもの。15歳で海軍へ志願し、18歳で右腕を失う。片腕がないことでお見合いを何度も断られたことがあったが、健常者に負けないよう仕事に励み、畳表の職人になった。



軍事郵便葉書

この葉書は、ミッドウェー海戦で負傷した方が病院から家族に送ったもの。整備兵として空母に乗艦していた時に、攻撃にあつて全身に大やけどをおった。除隊後は役所勤務を経て実家の農業をつぎ、家族のために戦争体験を書き残した。

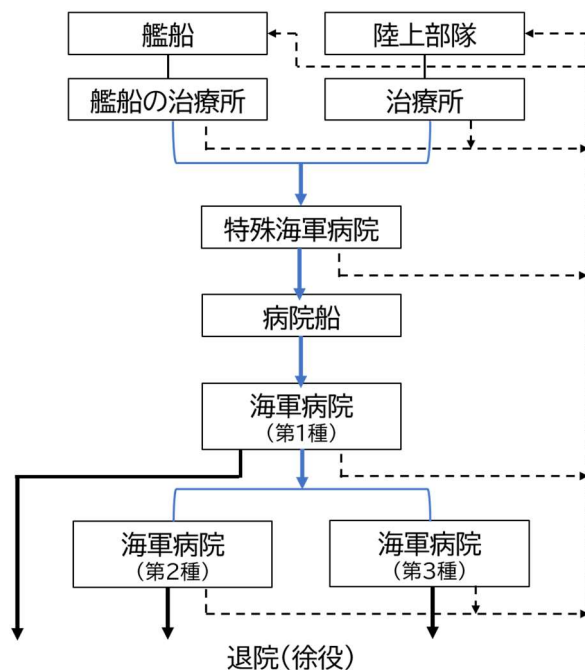


肺のレントゲン写真

このレントゲン写真は、通信兵だった方のもの。海軍にあこがれて少年兵に志願、レイテ沖海戦では助かったものの、疲労のために結核にかかってしまった。長く療養生活を続け、片肺は機能しなくなっていたが、障害者福祉に尽力し続けた。

展示Ⅱ．海軍の負傷兵の救護と衛生機関

展示Ⅱでは、海軍の傷病兵の後送体系や、病院の種類、機能について解説し、配属された軍医の証言、手記などから、海軍での傷病兵の治療、戦争での体験などについて紹介します。



海軍の傷病兵の後送体系(図)

原隊復帰を基本とし、重症や長期の療養が必要とされた者は内地の海軍病院へと運ばれた。



海軍病院(上)／治療・療養中の傷病兵(下)

映像上映

内容:企画展に関連する映像を上映します。

場所:しょうけい館 2 階シアター

※団体プログラム等によって、上映内容を変更・休止する場合があります

	映像タイトル	時間
10:00 } 11:00	片手のハンディを乗り越えて★	18 分
	戦病者として生きる★	16 分
	国のために生きて～元海軍軍医中尉の記憶～	23 分
11:00 } 12:00	字を書く手を受傷して★	11 分
	両眼失明が切りひらいた戦後の人生★	22 分
	海軍看護兵 若き日の記憶	15 分
	障害を超えたおおらかさ	10 分
12:00 } 13:00	片手のハンディを乗り越えて★	18 分
	ミッドウェー海戦で負傷して★	18 分
	二人三脚、商売繁盛	22 分
13:00 } 14:00	字を書く手を受傷して★	11 分
	両眼失明が切りひらいた戦後の人生★	22 分
	支え合い とともに歩む	16 分
	生と死に向かい合った 2 時間	10 分
14:00 } 15:00	ミッドウェー海戦で負傷して★	18 分
	戦病者として生きる★	16 分
	元海軍薬剤少尉の記憶	19 分
15:00 } 16:00	字を書く手を受傷して★	11 分
	両眼失明が切りひらいた戦後の人生★	22 分
	練習機「赤トンボ」の特攻隊	16 分
	海軍少年電測兵15歳の受傷	10 分
16:00 } 17:00	片手のハンディを乗り越えて★	18 分
	戦病者として生きる★	16 分
	蟻地獄からの脱出	17 分

・★のついた証言者の寄贈資料は、本企画展で展示します。

・各証言映像は上映時間以外でも、情報検索端末で視聴できます。